

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	lino (リノ) おひさまのたまご		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 1日		令和8年 3月 末日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 29日		令和8年 3月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に寄り添った支援ができています	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの特性や得意・苦手を丁寧に把握し、その子に合った支援を行っています。 アセスメント(評価)を行い、個別支援計画を作成する際には、保護者の方の思いも大切にしています。 保護者の方からも「子どものことをよく見てくれている」との声を多くいただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> より客観的に子どもの成長を捉えられるよう、標準化された評価ツールの活用を進めます。 支援計画の見直しを行う時間を定期的に設け、スタッフ全員で子どもの様子を共有しながら支援の質を高めていきます。 日々の記録や気づきをスタッフ全員が確認しやすいよう、情報共有の方法を統一していきます。
2	子どもが安心して過ごせる環境づくりができています	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが落ち着いて過ごせるよう、室内の清掃や換気をこまめに行い、常に清潔な状態を保っています。 活動内容に合わせてスペースを調整し、静かに過ごしたい時と体を動かしたい時の切り替えがしやすいよう工夫しています。 視覚的に理解しやすい掲示物を取り入れ、子どもが自分で行動を選びやすい環境づくりを進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースの配置を見直し、より分かりやすく安全に動ける環境を整えていきます。 視覚支援の種類を増やし、子どもが自分で状況を理解しやすい環境をさらに充実させます。 季節や子どもの体調に合わせて、温度・照明・掲示物などの細かな調整を続けていきます。
3	保護者の方とのコミュニケーションを大切にしていること	<ul style="list-style-type: none"> 電話・メール・面談など、保護者の方が話しやすい方法でやり取りを行い、日々の様子や気になる点を丁寧にお伝えしています。 怪我やトラブルがあった際には、できるだけ早く状況をご説明し、安心していただけるよう努めています。 ブログを通して活動の様子を発信し、事業所の取り組みを知っていただけるよう工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ブログでの情報発信を継続し、活動内容や行事予定をより分かりやすくお届けします。 面談の機会を増やし、子どもの成長や課題について保護者の方と一緒に確認できる時間をつくります。 支援内容の説明方法を統一し、より安心していただけるコミュニケーション体制を整えていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や保護者交流の機会が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流の場が少なく、きょうだい支援の機会も限られています。 地域の児童館や児童クラブとの交流も十分ではありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数で参加しやすい保護者交流会を企画し、気軽に話せる場をつくります。 地域の公園や施設を活用した合同活動を増やし、地域とのつながりを広げます。 きょうだい向けの小規模イベントを検討し、家族全体の支援につなげます。
2	研修や外部機関との連携の機会が十分でないこと	<ul style="list-style-type: none"> 研修の回数が少なく、スタッフが学ぶ機会が十分に確保できていません。 児童発達支援センターとの連携や助言を受ける機会も限られています。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン研修を積極的に活用し、参加しやすい環境を整えます。 児童発達支援センターとの情報交換の場を定期的に設け、助言を受けられる体制をつくります。 法人内外の研修情報を共有し、参加しやすい研修を選べるようにします。
3	スタッフ間の情報共有が十分に行えない時間帯があること	<ul style="list-style-type: none"> 支援前後の時間帯にスタッフ全員が揃わないことがあり、打合せが難しい状況があります。 「その日のうちに共有することが難しい」という声もあり、情報共有の仕組みが整いきっていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 短時間でも確実に情報を確認できる“ミニ打合せ”を導入し、必要な共有ができるようにします。 共有ノートやICTツールを活用し、スタッフ全員が同じ情報を把握できる体制を整えます。 支援の振り返りを記録として残し、翌日の支援に活かせるようにします。